小国町立小国中学校　学校だより

小国人

令和７年８月１９日（火）発行　　第１４号　　文責：校長　横澤　聡一

「実りの秋」に向け、２学期スタート！！

今日から２学期がスタートしました。田んぼでは稲穂がたわわに実をつけ、頭を垂れる季節を迎えます。十分に栄養を蓄え、中身が充実した稲穂ほど頭を垂れます。それは、実力を備え成長した者ほど『謙虚』になると言われる『人』の姿そのものです。

2学期始業式　校長式辞で生徒に次のような話をしました。（一部抜粋）

長い夏休みが終わり、今日から２学期が始まります。皆さんの元気な顔を見ることができ、大変嬉しく思います。

この夏休みは、猛暑が続き、熱中症警戒アラートが何度も発令されました。部活動が思うようにできなかったり、外出もままならなかったり、我慢を強いられる日々だったかもしれません。そんな中でも、中学生が地域のお祭りやイベント、ボランティア活動に積極的に参加し、町を元気づけてくれたという話を聞き、皆さんの行動を大変頼もしく感じました。皆さんのような若者が地域を大切に思う気持ちは、町の方々にとって本当に大きな喜びです。その気持ちをこれからも大切にしてほしいと思います。

さて、この夏休みは皆さんにとってどんな時間だったでしょうか。 夏休みを終えた皆さんの姿は、まるで田んぼの稲穂のようです。この時期、稲穂はたくさんの栄養を蓄え、ずっしりと頭を垂れています。充実した稲穂ほど、頭を垂れて謙虚な姿を見せます。これは、私たち人間も同じです。様々な学びや経験を積み、成長した人ほど、他の人の意見に耳を傾け、自分を省みることができます。皆さんはこの夏休み、多くの経験を積んだと思います。新たな知識を得たり、趣味に没頭したり、家族と過ごしたり・・・。その一つ一つの経験が、皆さんの内なる「実」となり、皆さんの成長を支えています。 ２学期は、その実力を試す、たくさんの「挑戦のチャンス」が待っています。職場体験、修学旅行、新人大会、合唱コンクールなど・・・。これらは単なるイベントではありません。クラスや学年という集団の中で自分の役割を見つけ、仲間と力を合わせ、一つの目標に向かう貴重な経験です。

ぜひ、このチャンスを活かして、一歩踏み出してみてください。

★苦手なことでも、少し勇気を出して取り組んでみる。

★周りの意見をよく聞いて、自分の考えを見つめ直してみる。

そのような小さな一歩が、皆さんを大きく成長させてくれます。そして、その先にはきっと、新しい自分、新たな人とのつながり、新しい発見が待っているはずです。

この２学期が、皆さん一人ひとりにとって実り多きものとなることを心から願っています。

山形県吹奏楽コンクール　銅賞受賞！！

8月3日（日）に、やまぎん県民ホール大ホールにおいて、山形県吹奏楽コンクールが行われました。本校吹奏楽部は、小編成の部に出場し、銅賞を獲得することができました。

夏休み中も、一生懸命練習に励んできました。当日は、まとまりがあり、迫力のある演奏をしてくれました。吹奏楽部の皆さん、おめでとうございました！！

学校パートナーの皆さんに感謝！！

7月17日（木）に、環境パートナーの方々に除草作業を行っていただきました。猛暑の中、校門から昇降口までの除草をしていただき、とてもきれいになりました。

また、7月24日（木）には、朝の時間帯に全校生を対象に、読書パートナーの方々による読み聞かせ＆昔語り、そして昼の時間には、図書室イベントを行っていただきました。読み聞かせ、昔語りの際、生徒の皆さんは、食い入るように絵本を見つめたり、お話の世界へのめり込んだりしていました。図書館イベントには、多くの希望者が集まり、「花束を作ろう！」というテーマで、フラワーアレンジメント作りに取り組み、一人一人、個性あふれる作品ができあがりました。

私たち小国中学校のために、いつもご協力いただいている学校パートナーの方々に感謝です。本当にありがとうございます！

【環境パートナーの方々】
除草作業の様子

【読書パートナーの方々】
紙芝居と
読み聞かせの様子

【読書パートナーの方々】
フラワーアレンジメントの様子